



## 株主通信 <第53期 第3四半期>

JBCCホールディングス株式会社 (証券コード: 9889)



差出人 東京都大田区蒲田五丁目37-1  
ニッセイアロマスクエア15F  
JBCCホールディングス株式会社  
経営企画、広報IR

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

※本通信は2016年9月末時点での株主様にお送りしています。

← 01 OPEN トップメッセージはこちらから。

[ご注意] 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

### 第3四半期のトピックスをご案内します。

#### Cloud Daysに出展しました。

JBCCは、10/19~21に東京ビッグサイトで開催された「ITpro EXPO 2016(Cloud Days2016)」に、認知度向上を目的にECOシステム・クラウドサービス「俺のクラウド」を出展しました。会場では、JBCCが推進するコンソーシアム「俺のクラウド倶楽部」の会員各社とともに、提供するさまざまなクラウドサービスを展示やミニプレゼンテーションでご紹介し、3日間を通して約1,000名のお客様に確認いただきました。

「俺のクラウド」は、外部イベントへの積極的な出展や営業活動を通し、現在13,500を超えるユーザーにご利用いただいています。



<https://orenocloud.tokyo/>

#### グループを横断して技術力の向上を推進しています。

グループを横断した技術者同士のコミュニケーションと、技術力のさらなる向上を目的に「技術者情報連絡会」を四半期毎に実施しています。12月実施の連絡会では、6組の代表が最新技術情報やそれぞれが取り組んだ新しい技術を発表しました。連絡会には役員も参加し、先取りしたサービスの実現を目指しています。



#### JBグループのCSR

##### 不要なカレンダーを寄付しました。

JBグループでは、年末年始のごあいさつに頂いたカレンダーで利用しないものを、各事業所より、地元の社会福祉協議会等に寄付をしています。社員の自宅からも持ち寄り、延べ800を超えるカレンダーは、社会福祉協議会を通じて高齢者や障害者の福祉施設等で活用いただいています。



##### FacebookやTwitterも活用ください。

当社ホームページでは、業績・財務情報をはじめとして最新情報をご案内しています。Facebook、Twitterでは、身近な社員の活動などもご紹介しています。

業績などIR情報(企業サイト) → <http://www.jbcchd.co.jp/ir/>

ソリューションなど事業情報(グループサイト) → <http://www.jbgroup.jp/>

Facebook → <https://www.facebook.com/jbcchd>

Twitter → <https://twitter.com/jbcchd>



##### [IRメール配信サービス(無料)]のご案内

当社の業績など適時開示内容や当グループ内の最新情報をメールでお知らせします。配信をご希望の方は、下記よりご登録ください。

登録サイト

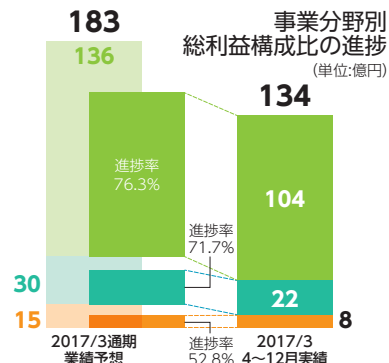
<http://www.jbcchd.co.jp/mail/>

##### 決算などの財務情報に関するご質問は

**0120-887-652** 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日除く)  
e-mail: [ir@web.jbcc.co.jp](mailto:ir@web.jbcc.co.jp)

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれていません。実際の業績は予想と大きく異なることがありますをご承知おきください。

## 第3四半期(4~12月)の概況をお知らせいたします。



### 情報ソリューション

企業の情報システムの構築及び運用保守サービス等を提供

### ディストリビューション

パートナー企業向けにハードウェア、ソフトウェア及びITサービスなどの販売、並びにITサプライ用品及びオフィス文具用品などの販売

### 製品開発製造

プリンターなどの情報機器及び当グループ独自のソフトウェアの開発・製造・販売

**情報ソリューション** → 売上高**402億61百万円**(通期予想進捗率 77.9%)  
→ 総利益**104億31百万円**(通期予想進捗率 76.3%)

- システム開発は、高速開発等の取り組みや大型の開発案件並びに利益率の高い案件の獲得によりビジネスが伸長。
- システム製品は、ストレージ(\*)等の仮想化ソリューションが前年と同水準で推移したものの、一般的な需要は減少。
- サービスビジネスは、保守サービスや導入支援サービス等が減少。

(\*)ストレージ:外部記憶装置

**ディストリビューション** → 売上高**198億88百万円**(通期予想進捗率 72.3%)  
→ 総利益 **22億 9百万円**(通期予想進捗率 71.7%)

- サプライは全般的に需要が伸びずビジネスが減少。
- システム製品は、サーバー等のシステム製品が減少したが、PCやプリンター等で大型案件があり堅調に推移。
- サービスビジネスは、IBM製品の新規保守サービスが堅調に推移。

**製品開発製造** → 売上高 **17億42百万円**(通期予想進捗率 62.2%)  
→ 総利益 **8億13百万円**(通期予想進捗率 52.8%)

- 大型案件等の受注減少により主力製品であるインパクトプリンターのビジネスが減少。
- グループ会社を通じてのJBソフトウェア販売はクラウド化への取り組みを進めている中、全体的にビジネスが減少。

## ごあいさつ

平素は当社の経営に一方ならぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2016年度第3四半期が終了しましたので、連結決算概況をご報告いたします。

景気の先行きが不透明な中、当第3四半期の企業のIT投資は、一部の企業に改善がみられたものの、当社の主要顧客である中堅企業では、全体的に慎重な姿勢が続いております。

このような中、システム開発における高速開発、クラウド基盤の確立等、独自能力の強化に取り組み、体質強化と収益の向上を進めてまいりました。

その結果、連結累計業績予想の進捗は、売上高75.5%、営業利益83.5%、経常利益83.3%、親会社株主に帰属する四半期純利益94.3%と、いずれも75%以上の進捗となり、計画を上回る推移となっております。

当第3四半期の連結業績は以下のとおりです。

### 当第3四半期の連結業績ハイライト

**[売上高] 618億93百万円** [前年同期比4.2%減]

情報ソリューションに属していた連結子会社アドバンスト・アプリケーション株式会社の当社保有の全株式売却(平成27年10月実施)等の影響もあり減少

**[営業利益] 15億 3百万円** [前年同期比24.0%増]

**[経常利益] 15億41百万円** [前年同期比36.7%増]

**[親会社株主に帰属する四半期純利益] 9億90百万円** [前年同期比275.6%増]

第4四半期以降も中堅企業のIT投資は、急激な伸長は予測されておらず、当グループといたしましては、お客様に最適なソリューションを組み合わせクラウドで提供する「ECOシステム・クラウドサービス」等のクラウド事業の拡大を更に進めてまいります。

JBグループの運用センター(SMAC:注1)にセキュリティの専門部門(SOC:注2)を設置し、セキュリティ運用・監視サービスの充実をはかってまいります。また、従来から取り組んでいるJBソフトウェアや3Dプリンター、医療・ヘルスケア事業についても注力してまいります。

今後とも株主の皆様のご期待に添えるよう、グループ一丸となり目標達成に向けて、全力を尽くしてまいりますので一層のご支援ご鞭撻を、よろしくお願い申し上げます。



平成29年2月  
代表取締役社長

山田 隆司

注1)SMAC … Solution Management and Access Centerの略称  
注2)SOC … Security Operation Centerの略称

### 配当・株主還元について

株主さまアンケートでもご質問をいただいております「配当・株主還元」について、当社はすべての株主さまに利益を還元することが重要と考え、株主優待の実施ではなく配当の実施および自己株式の取得・消却により株主の皆様へ利益を還元しております。特に剰余金の配当については、経営体質の強化と将来のグループ全体としての事業展開を考慮しつつ、株主の皆様へ安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。